

公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会

ご案内

JATAFFとは

わが国の農林水産業、食品産業、その他これらに関連する産業の発展に資するために、産学官の連携と広範な業際的交流を通じ、農林水産・食品分野における試験研究及び革新的な技術開発並びに情報交流の促進に関する支援等を総合的に行い、農林水産・食品分野におけるイノベーションの促進及び産業の振興に寄与することを目的としています。

このため、農林水産・食品分野における技術開発に関して、産学官を結ぶ架け橋の役割を果たしつつ、農林水産・食品分野における次のような事業を進めています。

- 1 試験研究、革新的技術開発及びこれらの産業化に関する調査研究、情報収集・提供、関係機関への提言、国際交流
- 2 研究開発の企画・促進・支援
- 3 試験研究に関し功績のある者の表彰
- 4 研究成果の移転・普及・試験評価
- 5 技術開発に関する講演会・研修会の実施

公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会 (JATAFF)

Japan Association for Techno-innovation in Agriculture, Forestry and Fisheries

1. 産学官連携による研究開発と社会実装の促進

□「知」の集積による産学連携支援

「知」の集積による産学連携支援事業において、高度な専門的知識を有するコーディネーター約 140 名を全国に配置し、地域における出口を見据えた農林水産・食品分野の産学連携活動を一体的に支援しています。こうした取組を通じて、民間企業を含む多様な機関の参画を促し、農林水産・食品分野におけるイノベーションの促進、産業競争力の強化、新産業の創出を目指します。

◆技術交流展示会（フェア）、セミナー等の開催や開催支援

例：アグリビジネス創出フェア、アグリ技術シーズセミナー

◆技術シーズの発掘、技術開発ニーズの把握とマッチング支援

例：育種や栽培、植物工場、食品加工など農林水産・食品分野の様々な研究開発における民間企業と研究機関とのマッチング等

◆研究開発プロジェクトの企画、実施、申請や運営の支援

例：イノベーション創出強化研究推進事業、生産性革命に向けた革新的技術開発事業

◆研究コンソーシアム、技術研究組合等の企画、運営支援

例：農林水産・食品産業マイクロ・ナノバブル技術研究組合

□東北被災 3 県の農水産業復興の支援

「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」に係る専門 P O (プログラムオフィサー) の設置を通じて、東北被災 3 県の農水産業復興を技術開発・社会実装面から支援しています。

2. 先端技術の研究開発と産業化の推進

□ゲノム編集等の次世代育種技術の社会実装

戦略的イノベーション創造プログラム(S I P)において、ゲノム編集等の次世代育種技術の社会実装を目指して、技術的課題に関する情報の発信、国民的理解増進のための活動を行っています。

□植物新品種の開発・保護・活用の推進

植物新品種の開発と育成者権保護・活用を促進するための「植物品種保護戦略フォーラム」及び植物新品種の産業化を促進するための「新品種産業化研究会」の事務局として、情報提供活動、植物新品種の海外流出防止のための総合的な事業を実施しています。

□政策提言

植物品種保護、種苗産業振興等のあり方に関し、農林水産省等に対して意見を具申します。

□専門部会活動

「安全性・品質保証部会」を設置し、食品安全に関わるテーマを中心に、関係業界、関係府省と会員との情報交換を行っています。

□技術開発に功績ある者の表彰事業

農林水産省が実施する農業技術功労者表彰、民間部門農林水産研究開発功績者表彰及び若手農林水産研究者表彰の共催または協賛を行っています。

- ◆ 農業技術功労者表彰 (昭和 19 年度～)
- ◆ 民間部門農林水産研究開発功績者表彰 (平成 12 年度～)
- ◆ 若手農林水産研究者表彰 (平成 17 年度～)

3. 研究成果の生産現場と産業界への移転促進

□生産現場での実証

- ◆低コスト稲作等を目指した「新稲作研究会」の運営
- ◆民間育成品種等の公的機関における評価試験の受委託

□社会実装に向けた事業展開支援

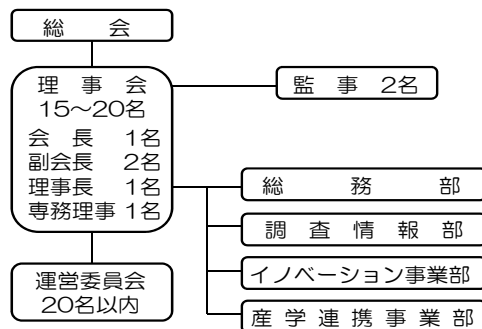
A I ・ I C T 等の先端技術の社会実装を推進するため、橋渡し役となる民間事業者の事業展開に向けた活動を支援しています。

4. 農林水産・食品分野の技術に関する情報の収集分析と多様な情報発信等

- ◆技術情報交流セミナーの開催
- ◆月刊誌「JATAFF ジャーナル」の発行
- ◆メールマガジン「JATAFF ニュース」の配信
- ◆ホームページによる情報発信
- ◆農林水産技術同友会の事務局
- ◆全国農業関係試験研究場所長会の事務局

■■■ 法人の概要 ■■■

- 【所在地】 〒107-0052 東京都港区赤坂一丁目9番13号 三会堂ビル7階
TEL 03-3586-8644 FAX 03-3586-8277
- 【設立】 平成2年10月16日（社団法人農林水産先端技術産業振興センター）
- 【会員数】 正会員 100 賛助会員 212（平成30年8月1日現在）
- 【組織図】



- 【役員】 理事 19名 監事 2名
- 代表理事 会長 荒蒔 康一郎（日本バイオ産業人会議 世話人代表）
- 副会長 石川 文保（株式会社ヤクルト本社 専務執行役員）
- 副会長 小鞠 敏彦（日本たばこ産業株式会社 経営企画部）
- 代表理事 理事長 雨宮 宏司（常勤）

【職員】 25名（うち常勤職員 21名）（平成30年8月1日現在）

【沿革】

- 平成2年10月16日 社団法人農林水産先端技術産業振興センター(STAFF)として創立
- 平成3年11月1日 農林水産先端技術研究所(STAFF研究所)設立(つくば)
- 平成14年10月 「植物品種保護戦略フォーラム」設立(STAFFが事務局)
- 平成16年12月 イネゲノム完全解読(STAFF研究所が大きな貢献)
- 平成20年11月 「新品種産業化研究会」設立(STAFFが事務局)
- 平成22年2月 「農林水産・食品産業マイクロ・ナノバブル技術研究組合」設立(STAFFが事務局)
- 平成24年2月15日 社団法人農林水産技術情報協会(昭和52年設立)と合併
- 社団法人農林水産・食品産業技術振興協会(JATAFF)と改称
- 平成25年4月1日 公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会へ移行

公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会

Japan Association for Techno-innovation in Agriculture, Forestry and Fisheries
(JATAFF)

<問い合わせ先>

〒107-0052 東京都港区赤坂1丁目9番13号 三会堂ビル7F

電話：(03)3586-8644 FAX：(03)3586-8277

ホームページ <https://www.jataff.jp/>

2018年8月版